



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi,
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan

〒980-0822

仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2014~2015年度 主題 ==

- 国際会長【Talk Less, Do more : 言葉より行動を】 Isaac Palathinkal (インド)
- アジア地域会長【Start Future Now : 未来を始めよう。今すぐに】 岡野泰和 (大阪土佐堀)
- 東日本区理事【With Pride and Plesure : 誇りと喜びを持って】 田中博之 (東京)
- 北東部部長【「一体となって一歩前に」一楽しく、楽しく、楽しくー】 大久保知宏 (宇都宮)
- クラブ会長【心一つに一丸となって、ともに歩む仲間を増やそう!】 南澤一右 (仙台青葉城)

VOL. 382

2015年05月

強調月間：「EF(エンダウメント基金)/JEF(東日本区ワイズ基金)」

<今月の聖句>

神は言われた。「父と母を敬え」また「父または母をののしる者は、必ず死に定められる」と。

(マタイによる福音書第15章4節)

『次年度(2015-2016)への抱負と役員選任について』

次期会長 菊地 弘生

次年度の会長職をお引き受けすることになりました。

2年間務められた南澤会長には、あと一か月余りありますが大変ご苦勞されてきたことと思います。改めて感謝を申し上げます。

さて、役員選任では、連絡・報告などをスピーディーに対応処理し、より良いコミュニケーションを図って充実した活動を皆で達成できればと思い選任させていただきました。

次年度は、一つでも多く、皆が楽しみながら例会に出席できることを願っています。

そのためには、何といたってもドライバーの働きをより工夫しながら、この月の例会は、このようなことをしたら面白いのでは、・・・というようなプログラムを発信できればと考えております。まずは、出欠連絡や食事の手配などは協力体制を密にし、早めに準備が整えられるよう頑張りたいと思っています。

この一年間、皆様のご期待に添えるよう努力して参る所存ですので、何卒、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



次年度の会長主題、活動方針、活動計画、年間スケジュール等については次月までに発表いたしますが、次年度の役員候補を次の通り選任しましたのでご協力の程お願い申し上げます。

役職	氏名	役職	氏名
会長	菊地 弘生	担当主事	青木 絵美
副会長	涌澤 博	ブリテン	清水 弘一
書記	加藤 重雄	ドライバー	加藤 重雄
会計	遠藤 勝志	地域奉仕	尾木 善宣
直前会長	南澤 一右	国際・交流	南澤 一右
メネ会長	佐藤あつ子	ユース	車塚 潤

*ブリテン、ドライバー、地域奉仕、国際・交流、ユースは事業委員長

*YMCA 特別プログラム委員長：①国際・地域協力募金(南澤一右) ②チャリティラン(菊地弘生)

4月例会				BF		スマイル	
会員数	14名	メネット	3名	切手	0kg	今月	10,500円
出席者	10名	ゲスト	0名	現金	10,000円	累計	126,314円
Make-Up	1名	出席率	78%	累計	10,000円	ファンド	131,314円

会長 南澤 一右
副会長 遠藤 勝志
書記 車塚 潤
会計 菊地 弘生
直前会長 南澤 一右
メネ会長 加藤 真子
担当主事 青木 絵美

国際標語：「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」

4月第一例会報告

日時 2015年4月16日(木) 18:45~20:45
場所 YMCA会議室 203/西公園
出席者 青木(絵)、池田、尾木、加藤、金原、菊地、
佐藤(あ)、清水、涌澤、南澤
＜メネット＞ 池田、加藤、金原

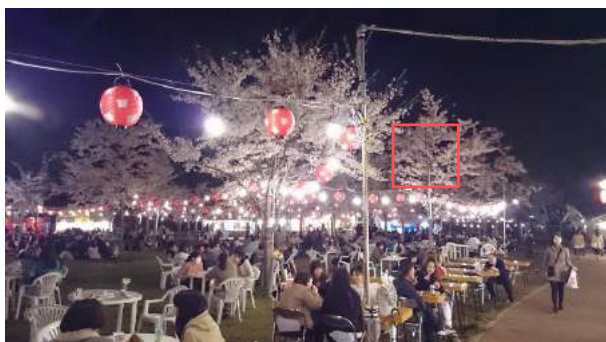
＜内容＞仙台YMCAは、夜桜見物で有名な西公園のすぐ近くに位置し、4月の第一例会日は、ちょうど桜が満開の季節にあっていたことから、夜桜散策例会を2部構成で開催しました。

【第一部】屋台で美味しいものを食べるスペースを残そうということでおにぎりでの軽食後、各種議題を取り上げ、最後には、チャーターメンバーの池田メンのショートスピーチを拝聴しました。

池田メンは、メネットの勧めで健康チェックを兼ねた週一回のリハビリに出かけているそうですが、池田メンのスピーチで心に残った言葉として、「今日できることを、明日もやる!」「生きていることは、もうけもの。もっと生きて、儲けたい!」というもので、座右の銘の一つにしようと思うほどの心に響く名言でした。

＜確認事項＞YMCA 特別プログラムの各委員を選任した。(バザー委員に尾木ワイズ、チャリティゴルフ大会委員に遠藤ワイズ、YMCA クリスマス会委員に車塚ワイズ)

【第二部】お待ちかねの夜桜散策へ。池田メン・メネットも元気に歩いて西公園に向かいました。幸いなことに暖かい夜で、夜桜見物にはもってこいの日になりました。桜もちょうど満開で、夜店も多数立ち並び、夜桜を楽しむ人々で賑わっていました。到着後は、満開の桜の前で全員揃っての記念撮影。その後は、屋台から出てくる美味しそうなおいにつられ、玉コンやら、各自好きなものを頬張りました。私は、池田メンと一緒に熱燗で乾杯!本当に楽しい夜桜散策例会になりました!(南澤記)



5月第二例会報告

日時 2015年5月7日(木) 18:45~20:45
場所 仙台YMCA会議室 203
出席者 青木(絵)、尾木、加藤、菊地、佐藤(あ)、
清水 <メネット> 加藤、金原
開会点鐘・会長挨拶 会長代理 菊地 弘生
議事 司会 菊地 弘生

1. 5月第一例会の確認
支援対策室 斎藤勉氏にお願いする
「宮古ボランティアセンターの2年を振り返って」
2. ロースターの校正について
3. 東日本区厚木大会参加登録状況の確認
4. 北東部評議会報告(菊地)
5. 3クラブ実行委員会からの報告(菊地)
 - ・中西部被災地訪問について(5月8~9日)
 - ・金沢八景クラブ(5月23~25日)
6. YMCAからのお知らせ
 - ・国際・地域協力募金終了 2,030,086円
 - ・YMCAバザーへのお願い(6月14日)
7. その他報告
 - ・メネット会(加藤真子会長)より
 - ・阿部靖理事長の感謝会(5月30日)について
 - ・ネパール地震緊急支援募金について(5・6月の例会で募金を実施する)

閉会点鐘 会長 南澤 一右

6月第一例会のご案内

日時 2015年6月18日(木) 18:45~
場所 仙台YMCA 203

ゲストスピーカー

- ・佐藤 英士氏(英士デンタル院長)
- ・題:「歯の健康は人生を変える」
ー幼児は3歳、大人は80歳が分岐点ー

・プロフィール

宮城県塩釜市出身 1968年7月
生まれ、仙台市内勤務医の後、
2005年青葉区旭ヶ丘に英士デン
タルクリニックを開業し院長、お
子様、長男高校1年、長女小学生、
2人ともYMCA幼稚園卒、現在もピアノ
・水泳プログラムに参加、趣味:柔道(6段)、
ハーフマラソン



第3回北東部評議会報告

会計 菊地 弘生

第3回となる評議会は、4月18日ホストクラブの宇都宮（さくらんぼ幼稚園）で行われました。出席者は22名、委任状は9名計31名で、評議会は成立しましたがいつもより若干少なめだった。当初3月を予定していたが、東日本区役員会の後となりました。

大久保部長より、11/8の第2回と4/11の第3回の区役員会の報告があった。その中でから一部を抜粋して報告します。

【第2回役員会】（田中理事への質問に対する回答）

- ・事業主任が毎年単年度で入れ替わっているが、事業継続性の観点で問題ではないか？
- ・1年で交代しなければならないという規定はない。
- ・事業主任の選び方については検討したい。

【第3回役員会】

第1日目 田中理事報告から

(イ)東山荘100年募金にJEF基金から1,000万円を献金することがJEF委員会で審議・決議され、理事として承認したことを役員会に報告する。役員会で賛同されたが、第2日目の質疑・ディスカッションにおいてもこの件に関し、高額であることから十分話し合われた。

(ロ)田中理事から、表彰バナーパッチについては、コスト削減を図るため、今期は希望クラブにのみ配布することにしたい。評議会等において、部長から説明して頂きたいとの依頼があった。

【評議会議案】

(イ)ユースリーダーズアクト決算の件

- ①横倉実行委員長より、決算報告があり承認された。
- ②この残金については2015年度も継続して計画されていることを説明し、次回に充てるための繰越金とさせて頂きたい旨を諮り承認された。

(ロ)大久保部長より、北東部次次期部長をもりおかクラブの長岡正彦ワイズを推薦する旨の提案があり一同承認された。

(ハ)次期中川北東部部長より、主題、方針、役員、事業計画案について趣旨・説明があり、賛否を諮り一同承認された。

無から有を生む小さなボランティア

メネット会長 加藤 真子

5月16日、「仙台中部郵便局長夫人の会（略仙中会）」からの依頼で、メルパルクにおいて金原道子メネットが『無から有を生む小さなボランティア』と題して講演を行いました。仙中会からは、ここ10

年近く使用済み切手をYMCAに送っていただき、私たちワイズのBF基金に貢献をいただいている団体です。現在換金しても大きな金額にこそなりません。まさに“無から有を生む”貴重な活動であり、日頃切手を扱っている郵便局長の夫人会の皆様にとっては身近なボランティアとして使用済み切手収集は定着しているということでした。今回はYMCAの小幡さんにYMCAの活動を動画も入れて先にお話していただき、その支援団体としてワイズメンズクラブの紹介とその活動の一つとしてBF基金のお話をいたしました。講演後、御礼にと仙台3クラブのメネット会に5,000円ずつの支援金を頂戴してまいりました。改めてBFの歴史と内容について再確認できた1日となりました。



↑ 仙中会で講演する金原メネット

(仮)石巻広域・新クラブ設立準備報告

- ▼ 5月16日（土）、第3回目の設立準備委員会がYMCA石巻支援センターで行われた。石巻地区より平井委員長以下7名、仙台3クラブより6名、ゲストスピーカーに大久保北東部部長を招き計14名が出席して行われた。
- ▼ 大久保部長からは、「わたくし流のワイズの楽しみ方と奉仕活動」と題してスピーチをいただいた。“ワイズとはいろんな個性の集まりで型にはまらない奉仕活動ができるところで、ユースを巻き込み、ゲストを招いて楽しい例会を目指そう”
- ▼ 議事として主に次のような事が話し合われた。
 - (1) クラブ会則の検討（例会日、場所、会費など）
 - (2) 設立総会に向けて今後のスケジュール
 - (3) 第18回東日本区大会（厚木市）への参加と被災地物品販売の出店について
 - (4) 構成会員（チャーターメンバー）の募集について（入会案内チラシの作成と配布など）
 - (5) 次回設立準備委員会の開催について
 - ・2015年7月4日（土）17時～19時
 - ・場所：YMCA石巻支援センター

▼ 阪和部一行東北復興応援ツアーで来仙

昨年の11月に続き2回目の阪和部の復興応援ツアーが4月25日来仙され、遠藤次期西日本区理事を含む3クラブ・一行7名と仙台3クラブ・YMCA支援室から12名が出席して交流会が持たれた。会場は4年前、震災発生時に立町会館に設置された避難所に毎日のご自分の店や仲間の店の食材を提供していただいた東一番町の集合郎において行われた。

被災地の復興状況を報告の後、阪和部皆さんから年期の入ったパフォーマンスとたくさんの励ましをいただきました。手作りの模型を使って絶滅危惧種アホウドリのアピールや上方落語の披露はさすが阪和部の芸達者と感心させられました。翌日、一行は岩手県陸前高田市を訪問の後、帰阪されました。



▼ 中西部復興応援ツアー被災地を訪問

今年度中西部（清水汎部長）は、大震災発生してから4年たった被災地の復興状況を自分たちの目で確かめたいとの意向から、中西部4クラブ、阪和部2クラブ一行14名のメン・メネットが5月8～9日の2日間被災地を訪問されました。

初日、仙台空港に到着後直ぐ福島第一原発方面に向かいました。福島第一原発周辺は未だ生活困難区域となっており、至る所にバリケードと警備員、そして警察官が配置されておりました。車の通りはあっても生活されている方はおらず、ひっそりと静まり返っている光景に、メンバーの皆さんからはため息と驚きの声が聞かれました。事故当時のまま何一つ片づけられておらず、そのままの現状を見ることが出来ました。住民の方々の悲痛な叫び声が聞こえてくる思いでした。

次に、宮城県山元町にある、中浜小学校を視察、ここは海の近くにあり、津波が襲来した時は、先生および生徒全員が学校の屋根裏に避難し、難を逃れた学校でもあります。しかしながら学校は未だそのままに残っており、当時の凄まじさを感じる事ができる場所でもあります。

二日目、最初に74名の児童と10名の教職員が犠牲になった石巻市立大川小学校を訪問、しばし多くの方々のご冥福を祈り、なぜ逃げきれなかったのを考えました。次に、解体か遺構として残すかの議論が続く南三陸町防災庁舎を経由して、ほぼ町が全滅した石巻市門脇地区を訪れ、襲来した津波の恐ろしさを実感した。東松島市ではYMCAとワイズの協働で建立された津波の教え石とJR仙石線の復旧が進む野蒜海岸を經由し、最後の訪問地名取市閑上海岸を訪れた。終わりに、唯一の高台がある日和山公園前の休憩所において犠牲になられたすべての方々のご冥福を祈り、一日も早い被災地の復興を願って全員で礼拝の時を持ち、その後お別れしました。



▼ 大久保北東部部長、石巻・長面・雄勝・女川エリアの被災地を訪問

5月16日に行われた（仮）石巻広域クラブの設立準備委員会に出席した大久保北東部部長は、翌日、同クラブ設立準備委員の日野峻先生の案内で、普段あまり立ち寄ることの出来ない被災地を訪問した。4月11日に

オープンした川の上プロジェクト・百俵館では、追加の絵本を贈



呈（写真）、これで全国のワイズ関係者から寄贈された絵本は累計382冊になった。次にあの大川小学校の奥、北上川（追波川）の河口に位置するほぼ町全体が消滅した長面地区に向かった。今は居住制限区域となった古民家を借りて再生プロジェクトを実施している田邊代表から復興状況を伺った。その後、被災地では一番遅れていると云われる雄勝湾から山越えて女川町へ、日野先生がかつて勤務した女川第3小学校を横目に、第二次世界大戦における最後のカナダ人戦死者グレー大尉の乗機が女川湾に墜落、その友好の標の記念碑が建つ場所から、復興が進む女川湾を一望して帰仙した。日野先生には丸一日ご案内いただき、貴重な発見と被災地で復興に励む現地の方々と直接の出会いがありました。



▼東日本区理事メッセージ (理事:田中博之)

主題:「誇りと喜びを持って」

今月はEF、JEFの強調月間です。東日本区では国際協会の基金であるEF(エンダウメント ファンド)の他に、区独自の基金としてJEF(東日本区ワイズ基金)を持ち、奉仕活動・事業の支援、災害対応等ワイズ運動推進のための献金を集めるとともに、都度、基金の目的に沿った支出を行って参りました。1997年に旧日本区の日本ワイズ基金等をもとに2,500万円の残高でスタートしたJEFは、これまでの18年間に約960万円の献金を集め、横浜国際大会支援、2000プロジェクト支援、同時通訳機購入等に1,030万円支出し、現在の残高は約2,430万円となっています。今般、日本YMCA同盟・東山荘の本館の建て替えを主たる目的とする「東山荘100年募金」にJEFから1,000万円を献金することといたしました。これはYMCA支援というワイズメンズクラブ最大の目的・事業への取り組みの一環であり、また、JEFを、蓄えるだけでなく生きた基金として有効に活用する表れでもあり、皆さまのご理解をお願い申し上げます。また、今回の支出分を早期に復旧させるべく、今後も、クラブの周年記念や個人の慶事、表彰、ワイズ役職退任時等の献金を、どうぞよろしく願い申し上げます。



1. 仙台YMCA創立110周年記念式典並びに会員総会を開催 (詳しくは次月号に掲載予定)

日時 5月30日(土) 午後2時~午後5時
会場 仙台YMCA 201教室及び4階ホール
内容 第1部 記念礼拝、第2部 会員総会
第3部 記念式典

- ①仙台YMCAの変遷(スクリーン上映)
- ②会員表彰・感謝・110周年特別表彰
- ③タイ農村ワークキャンプ報告会
- ④インドスタディツアー報告会

2. 仙台YMCAバザー物品寄贈のお願い

6月14日(日)に仙台YMCA立町会館において仙台YMCAバザーが行われます。毎年多くの皆様に足を運んでいただき大賑わいのバザーが行われています。今年度も皆様が楽しめるバザーを実施できるように準備を進めてまいります。ご家庭に眠っている未使用の物品などがございましたら、ぜひYMCAに寄贈のほどお願いいたします。

日時:2015年6月14日(日)午前10時~午後2時
場所:仙台YMCA立町会館

3. ネパール地震緊急支援街頭募金

5月24日(日)午後1時より3時まで、ネパール地震緊急支援街頭募金を市内3か所(三越前、フォーラス前、グッチ前)で実施しました。国際ホテル専門学校学生、子どもたち、保護者、職員、ワイズ関係者約40名の参加がありました。ホテル専門学校の中にはネパールからの留学生がおり同じ学生仲間、子どもさんと共に大声を出して訴えかけました。市民の反応は良く、募金総額は168,686円となりました。



< HAPPY BIRTHDAY >

- ・5月6日 清水 弘一さん
- ・5月7日 南澤かおりさん

クラブ・今後のスケジュール

- 5月30日(土) 仙台YMCA 会員総会および110周年記念式典
- 6月04日(木) 仙台青葉城クラブ第2例会
- 6月06日(土) 第18回東日本区大会(厚木市)
- 6月07日(日) // (2日目)
- 6月10日(水) 3クラブ実行委員会
- 6月14日(日) 仙台YMCAバザー
- 6月18日(木) 仙台青葉城クラブ第1例会
- 7月02日(木) // 第2例会
- 7月04日(土)(仮) 石巻広域クラブ設立準備委員会(YMCA石巻センター)
- 7月16日(木) 仙台青葉城クラブ例会(総会)

編集後記

▼5月号ブリテン(完成版)の発行が月に月を超えてしまったことをお詫びします。もう一つお詫びを、4月花見例会で全員揃っての記念撮影の保存に失敗し、例会報告2枚の写真は涌澤ワイズから提供されたものです。

▼大震災以降、一部区間不通になっていたJR仙石線が、5月30日運行が再開され、4年2か月ぶりに全線がつながりました。石巻新クラブ設立への励みにもなります。ぜひ仙石線を利用してみんなで応援に行きましょう。(弘)